



# 校長通信

No.13 令和2年10月1日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

10月に入り、秋らしい心地よい風がそよぐようになりました。スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、そして食欲の秋。1年の内で最も過ごしやすい季節です。子供たちは、落ち着いて学習に励み、河北祭に向けての準備も進めています。

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化祭を実施せず、例年の陸上競技大会の規模を小さくし、吹奏楽部の演奏及び生徒会執行部のパフォーマンスを取り入れて、河北祭と銘打った行事を実施することとしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者、地域の方々の入場は控えていただくこととなります。ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 《修学旅行説明会を実施しました》

去る9月30日（水）本校体育館において修学旅行説明会を実施しました。今年度、コロナ禍の中、より安全な修学旅行とするため、和歌山市内の中学校はすべて和歌山県内で旅行することで統一しました。

本来であれば、日本の首都、政治・経済の中心地、世界でも有数の大都市、東京に行き、見聞を深め、学習することが修学旅行の目的の一つですが、それもかないません。いろいろなところで3年生には、我慢をお願いすることになってしまい、申し訳なく思っています。

しかしながら、私たちの和歌山県には、世界にも自慢できるすばらしい自然・文化があります。3年生には、この修学旅行で、仲間とともに、それらを見て、体験して、和歌山のすばらしさを実感してもらいたいと思います。国際化が進む中、様々な文化を背景にする方々と交流する機会が増えて来ます。その際、自分のふるさとや生まれ育った県のことを知って、そのすばらしさを伝えることは、とても大切なことです。私も、仕事やプライベートで海外の方々と交流してきましたが、和歌山のことを積極的にアピールし、興味深く聞いてもらいました。3年生のみんなも、近い将来、和歌山のすばらしさを発信してくれることを期待しています。今回の修学旅行がその礎となってくれたら幸いです。

一生に一度の中学校の修学旅行。感染症拡大防止に留意しながら、子供たちの心に残るすばらしい旅行にしたいと思います。3年生担当教員を中心に、その準備を着々と進めています。

修学旅行説明会に出席いただいた3年生保護者の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

